



2011年10月21日

VOL. 59

# とっとり・グローバルウォッチ

とっとり国際ビジネスセンター情報誌

## 現地発！台湾月刊レポート 52 台湾人消費行為大調査

台湾人25歳から34歳までのYoung世代（以下、Y世代と省略）におけるブランド嗜好調査が発表された。面白いので紹介したい。「欲しいモノ」と「実際購買したモノ」の二種類について調査が行われた。日本人である皆様とどう違うか、比較してみるのも一興である。

Y世代において、パソコン、ケータイ等々、欲しいブランドそして実際に使用するブランドは何であろうか。まずは、パソコン、ケータイで欲しいのは、Apple。しかし実際に使用しているのは、パソコンではASUS、携帯ではノキアであった。台湾人の最も行きたい外での朝食場所は、スターバックス。しかし実際は、7-ELEVEnで朝ご飯を買う。ちなみに台湾の7-ELEVEnでは、淹れ立てホットコーヒーが持ち帰れる。スターバックスと7-ELEVEnは、同じ統一グループ傘下である。銀行関係では、

ちょっと意外だが、中華郵政と言う日本で言う郵便局が一番人気であった。

今回の調査は、遠見、天下文化事業グループの「30」という雑誌にて行われた。400万人いるY世代からハイテク、流行ファッション、飲食、生活、財形の五大分類に対して、518のブランドから選択してもらった。選択肢は「欲しいモノ」と「実際購買したモノ」の2種類について選択。調査期間は、本年2011年6月から7月にかけて行われた。パソコン、携帯については、上述のごとく、Appleが強い。しかし昨年8位だったケータイ部門でHTCが第3に躍り出たことは、特筆すべきであろう。欲しい部門でも、Appleについて第2位となった。カメラでは、日本のCanonが欲しいモノでも購買したモノでも同時に1位を勝ち取った。女性の使用するスキンケア用品では、実際に購買するのは、ニュートロジーナ。しかし欲しいのは、資生堂であった。

### 目次

現地発！ 台湾月刊レポート 52	P 1 P 2
最新の上海 ～現地レポート～ 43	P 3
米子～上海間に 空路を誘致	P 4 P 5
セミナーのご案内	P 5
お知らせ	P 6

Y世代 (25-34歳)		消費行為大調査	40世代 (35-44歳)	
欲しいモノ	買ったモノ	カテゴリー	欲しいモノ	買ったモノ
Apple	ASUS	PC	Apple	ASUS
Apple	NOKIA	ケータイ	Apple	NOKIA
中華電信	中華電信	電話サービス	中華電信	中華電信
Canon	Canon	カメラ	SONY	Canon
ビオテルム	Biore	男性清潔用品	ニュートロジーナ	Biore
シャネル	資生堂	女性スキンケア(対面)	SK II	資生堂
シャネル	資生堂	女性化粧品(対面)	シャネル	資生堂
資生堂	ニュートロジーナ	女性スキンケア(棚販)	資生堂	Olay
マジョリカ	メイベリン	女性化粧品(棚販)	カネボウ	メイベリン
ロクシタン	ヘッド&ショルダー	シャンプー	ロクシタン	ヘッド&ショルダー
モスバーガー	マクドナルド	ファーストフード	モスバーガー	マクドナルド
スターバックス	7-ELEVEn	外食朝食	スターバックス	7-ELEVEn
毎朝健康茶	茶裏王	お茶	御茶園	毎朝健康茶
7-ELEVEn	7-ELEVEn	コンビニ	7-ELEVEn	7-ELEVEn
BMW	トヨタ	自動車	BMW	トヨタ
ナイキ	ナイキ	運動用品	ナイキ	ナイキ
CITIBANK	中国信託	クレジットカード	AMEX	中国信託
中華郵政	中華郵政	銀行	中華郵政	中華郵政
信義房屋	信義房屋	不動産仲介	信義房屋	信義房屋
国泰人壽	国泰人壽	保険	国泰人壽	国泰人壽

蘋果日報 10/01記事内 雑誌「30」より。

### 世界の祝日 11月

- 米国 11日 退役軍人の日  
24日 感謝祭
- ロシア 4日 国民統一の日

出所：ジェット通商弘報  
「世界の祝祭日2011年版」から

<次頁へ続く>

## ■ ネットや口コミによる広報

淡江大学の曾副教授の分析によれば、Y世代の特徴は、実用便性を求め、情報と流行に敏感。7-ELEVENは便利であり、スターバックスは、ファッションの感じがあり注目をされるという。雑誌編集部によるとY世代は、製品の性能と価格(コストパフォーマンス)を見極めており、ネット広告、口コミ等により影響されやすいとしている。案外、郵便局が好きなどと保守的である一面も見えた。ブランドで上位になった会社の広報部の話では、広告活動をBlog、BBS等インターネットを使用した活動を中心としているとのこと。

## ■ 人気の理由

7-ELEVENによれば、消費者には、多種類の朝食を提供しており、コンビニ一箇所で飲料、食品等すべての要求を満たしていることが、1位となった勝因と見ている、とコメントした。消費者の声としては、「25歳女性は、スターバックスのコーヒー豆品質は高く、サービス態度もよい。しかし朝食として考えると品数が少ないし、高い。毎回行く場所ではないが、機会があれば行きたい場所」、「26歳女性OLは、スキンケア商品は、安いドラッグストアで買う。百貨店ブランドにも負けていない。しかし一番大好きなのは、資生堂の紫外線ケア商品である」、「25歳女性は、ケータイはHTCを使用している。価格がほど良い。しかしタッチパネルが使いづらい。ちょっと残念。ほんとうに欲しいのは、iPhone。カッコいいし、機能も良い。他の人が使用しているのを見ると、欲しくなっちゃう」、「28歳秘書は、家族全員がキヤノンのカメラを使用している。使いやすしいし、一眼レフでは画像品質も良い」、「30歳男性は、7-11が便利であり、商品も多様であり、味も良い。会社で忙しい時は、7-11でご飯を買って電子レンジでチーンしてもらい食べるよ。時々行っているポイントを集めると、何かくれるのも人気が一番になる理由じゃないかな」ということだ。

携帯については、台湾ではモバイルフォンが当たり前になっている。日本が今流行しているよりも前から持ち歩いている。台湾ブランドであるHTCの躍進は、台湾の元気の良さを示している。日本勢として興味を引いたのは、40世代の欲しいモノであるカメラ。SONYが入っている。頑張っって欲しい。自動車ではトヨタ。台湾人Y世代は、しっかりと現実をみて選択している。ちょっと意外だったのは、モスバーガー。確かにマクドナルドよりおいしいとは思いますが、品質は日本に遠く及ばない。日本レベルになることを期待してはや十年。研究して欲しい。

## ■ 閑話休題

皆様は、台湾「霧社事件(むしゃじけん)をご存知だろうか。以下、Wikiより。「霧社事件は、1930年10月27日に台中州能高郡霧社(現在の南投県仁愛郷)で起こった台湾原住民による日本時代後期における最大規模の抗日暴動事件。台湾原住民である霧社セデック族マヘボ社の頭目モーナ・ルダオを中心とした6つの社(村)の壮丁300人ほどが、まず霧社各地の駐在所を

襲った後に霧社公学校の運動会を襲撃した。襲撃では日本人のみが狙われ、約140人が殺害された」。

これを題材にした台湾映画が、9月より公開され大人気となっている。映画タイトルは、7億台湾元(約20億円)をかけ制作された「セデック・バレ(台湾原題は「賽德克巴萊)」」。前編(9月初旬封切り)と後編(9月月末封切り)の二部になっている大長編作品である。実は、お恥ずかしい限りだが、私も魏監督の関係で友情出演をしている。役は、原住民鎮圧に際し日本空軍(当時日本に空軍はなく警察航空隊と思われる)将校役。禁止されていた化学爆弾の投下を指示実行する役であり台詞まである。台湾人にとって敵役となるため、街をうかうか歩けなくなるかもしれない。皆様も台湾に行く機会がありましたら日本語の台詞もあるのでぜひご覧になって下さい。知られざる台湾と日本の歴史を知る良い機会かもしれません。

\*台湾人消費行為大調査は、2011年10月1日蘋果日報による。



セデックバレ 第一部「太陽旗」



セデックバレ 第二部「彩虹橋」

# 最新上海 ～現地レポート～ 43

## 日本の地下ショッピングエリアを再現！「五番街」

日本ではよく見かける地下ショッピングエリア。ところが上海ではあまり見られず、発達もしていない。上海にいと、日本の地下デザイン設計のすばらしさを改めて感じる。地下鉄から直結したショッピングモール、レストラン街、駅ビルなどなど。会社帰りのショッピング、雨の日の通勤にはとてもありがたい形態なのだ。

さて、昨年10月に徐家匯（じょかかい、中国読み：シュージャーフイ）商業エリアにあるメトロシティ（中国名：美羅城）に日本式地下ショッピングエリア「五番街」がオープンした。

### ■立地エリア・アクセス

この周辺は、百貨店が軒を連ね、高層オフィスビルや高級マンションが連立し、五番街のあるメトロシティのほか、東方商厦、匯金百貨店、太平洋百貨店、などが向かい合うように林立しているビジネス及びショッピングエリアである。居住区とオフィス街が並存するエリアのため、近隣の住民や会社帰りのオフィスワーカーたちが利用し、平日・週末を問わず行き来する利用客は多い。メトロシティへのアクセスは、もちろん地下鉄「徐家匯」駅から連結しているため、便利である。

### ■テナント状況

現在、合計31社が店舗を構えている。そのほとんどが、日本でも有名な飲食、アパレル、雑貨、日用品などを販売している企業。ここでは、特に人気の店舗を紹介する。



メトロシティの主な客層がホワイトカラーの20～30代女性であるため、五番街の店舗も若い女性が好むスイーツ、ファッションやおしゃれでかわいい商品を販売するショップが連なっている。

### ■テナント出展について

メトロシティを運営する上海メトロシティ文化娯楽有限公司の市場開発部マネージャー郭清氏に出展する場合の費用や契約条件について問い合わせた。

#### ①空きテナント状況（2011年9月30日時点）

出展形態によるが、2～3社が出展できるテナントスペースに空有り。

#### ②費用目安

スペースの立地あるいは面積、経営状況、契約時の状況など総合的に考慮する必要があるため、あくまで目安だが、約40元/m<sup>2</sup>/日～となっている。たとえば、飲食スペースが必要ないテイクアウトタイプの食品を販売するため10m<sup>2</sup>のテナントを契約したとして、月額約12,000元（約144,000円）となる。

#### ③契約期間

通常、2～3年契約。

#### ④自治体の出展

北海道が県産品販売のため、オープン当初から2年のテナント賃貸契約をしていたが、東関東大震災の影響で、日本からの商品を仕入れることができない状況が現在も続いており、テナント閉鎖となった。

地下鉄から連結しており、平日・週末を問わず、利用客が多い。その分、テナント賃料の高さに反映されている。商品の価格帯としては、客層が一部の富裕層というわけではないので、飲食関連であればそれほど高くない、各社とも利用客の回転率や販売量を見込んだ戦略なのだろう。現在は、既にほぼテナントが占有しており、北海道アンテナショップがあった所ともう一つのスペースのみ空いている状況だ。ちなみに、常設テナントだけでなく、短期のPRイベントを行うことも可能で、筆者が訪れた際は、日本の大手化粧品メーカーが新ブランドのPRイベントを行っていた。

#### 《写真の説明》

- 左 上：抹茶&日本茶カフェ「nana's green tea」
- 左中央：ベーカリー「ドンク」
- 左 下：おしゃれ雑貨等「francfranc(フランフラン)」
- 右 上：鯛焼き「たい夢」
- 右中央：「無印良品」
- 右 下：靴下屋「tutuanna(トゥトゥアナ)」

#### 《参考》

上海メトロシティ文化娯楽有限公司（運営オフィス）

住所：上海天钥橋路30号メトロビル609室

電話：+86-21-6426-8380

HP：<http://www.shmetrocity.com/>

#### 五番街

住所：上海市肇嘉浜路1111号メトロシティ地下1階

アクセス：地下鉄1・9号線の「徐家匯」駅下車、10番

# 米子～上海間に空路を誘致

## 大いなるチャレンジ！中国・春秋航空による国際定期便の誘致

鳥取県では、中国と日本との経済面での交流を活発にするとともに、中国からの観光客を誘致して地域経済の活性化を図るため、諸外国の中で最も路線利用が期待される中国（上海）から米子鬼太郎空港に就航する国際定期便について、誘致活動に着手しました。

東アジアのゲートウェイとして本県が第2ステージに進む大きな一歩となる今回のプロジェクト。その動きについて現状と方針を紹介させていただきます。

### ■勢いを増す春秋航空の路線開設

中国の代表的な格安航空会社（LCC）である春秋航空が、2010年7月の上海～茨城線就航を皮切りに、今年7月上海～高松線を就航。本年中にも佐賀空港への就航を目指すなど、日本への新規路線の拡大を計画しています。このため、日本の各自治体が熾烈な路線の誘致合戦を繰り広げています。それは、春秋航空による路線開設が、単なる航空インフラの整備に終わらないためなのです。

春秋航空の親会社は中国大手旅行会社の「春秋国際旅行社」であり、中国国内にある34支社から中国人旅行者の集客について責任をもって進めていただけるという利点があります。搭乗客の多くが中国人旅行者であることが見込まれることから、山陰両県の企業（特に観光産業）に及ぼす経済影響が大きいことが、他の航空会社と異なる大きな魅力となっているのです。

### ■なぜ上海なのか

上海及び周辺都市は山陰の企業とも関係の深い地域であり、また、上海をハブ（中継地）に中国国内各都市をはじめ東南アジア、世界中へ容易に移動できることから、上海との国際定期便誘致については全国の地域や自治体がしのぎを削っています。

加えて上海は、世帯あたりの年間実質可処分所得が中国国内で最も高く、中国からの訪日客が最も多い都市でもあり、国際定期便を利用して来訪する中国人観光客が地域にもたらす経済効果は大きいとされています。

### ■海外進出企業のビジネスコストを削減

春秋航空がLCCであることも地域経済にとって大きな魅力です。徹底したコスト削減により、高松便では片道3000円からの驚きの低価格を実現しています。航空運賃が低運賃であることから、通常の航空便よりも家族連れや幅広い方々に利用していただけるのです。

もちろん、中国各地で経済活動を行っている県内企業の皆様の利便向上を図り、中国との経済交流を活性化、また上海を拠点として安価に中国各地や世界各都市への移動が可能となることで海外進出企業のビジネスコスト（金と時間）を大幅に削減することが可能となります。これまで、岡山空港や関西国際空港を利用していたことを考えれば、その利便性の向上は明らかです。

交通コストの県外流出を防ぐことは、そのコストを新たな投資に用いたり地域内に循環させることにも繋がり、山陰の経済活動全体の底上げにも期待がかかります。

### ■平井知事による強力なトップセールス

今年7月14日、平井知事は定例記者会見で、春秋航空による国際定期便の誘致を表明しました。その後、県では、矢継ぎ早にプロモーションを進めています。

定例記者会見の翌週に関西広域連合が実施した中国（北京・上海）への中国人観光客誘致トッププロモーションに併せて、19日、平井知事自らが上海市の春秋航空本社を訪問。同社の王会長と面談し、鳥取県への新規路線開設を要請しました。

また、8月には、観光分野における上海市との交流と協力を強化するため、上海市旅遊局と本県文化観光局による観光に関する協力協定を上海市で締結。本県から参加していた藤井副知事が春秋航空と親会社である春秋国際旅行社に観光プロモーションを実施し、本県への観光視察への招待を行いました。

次頁へ続く→

### 《誘致概要》

区分	内容
(1) 路線	上海～米子鬼太郎空港
(2) 航空会社	春秋航空（本社：中華人民共和国上海市）
(3) 就航機材	エアバス A230（定員180人）
(4) 便数	週3便以上（年156便以上）

### 《写真》

春秋航空の機材。日本をはじめ、アジア地域への積極的な路線開設が続く。機内サービスの有料化など、徹底したコスト削減で驚きの低価格運賃を提供。



それに応え、早速に春秋国際旅行社の姜副総経理（副社長）による観光面での視察が9月1日から3日にかけて行われ、9月1日には平井知事と面談。ここでも、平井知事は新規路線開設にかける意気込みを姜副総経理に伝えたのです。

姜副総経理からは「まずは高松に就航している春秋航空を利用して、試験的に鳥取県へのツアー造成を考えてみたい。将来の鳥取県への春秋航空の就航も視野に、鳥取県をパートナーとして協力していきたい。」との発言がありました。あわせて、中国国内での鳥取県の知名度が低いことへの対策が必要とされ、今後いかに中国市場に対して鳥取県の観光魅力を売り込んでいくのが課題となっています。

### 《春秋航空の会社概要》

正式名称	春秋航空公司（所在地：上海市空港一路528号（上海虹橋機場））
代表者	王正華 董事長（会長）
設立日	2004年5月26日 ※中華人民共和国で初めての民間資本系航空会社（中国民用航空総局認可）
拠点空港	上海虹橋機場（国内線が中心の空港）
親会社	春秋国際旅行社（海外・国内に41の全資本支社を有する中国大手旅行会社）
保有機材	21機（すべてエアバスA320）
就航地	34都市（中国各都市に就航。現在、日本以外の国際線はない）
日本就航	上海－茨城 定期チャーター便 現在週5便（2010年7月就航） 上海－高松 定期チャーター便 週2便（2011年7月15日就航） 上海－佐賀 定期チャーター便 週3便（2011年中の早い時期）



### ■地域が一丸となって挑戦を

人口の低減期に入り、今後、定住人口の大幅な増加が見込めない中で地域経済を活性化させようと考えれば、交流人口を増やす新たな取組が必要です。LCCによる国際定期便の就航は、新たな「人」と「金」の流れを確実に呼び込みます。このことにより、地域の観光産業をはじめとした内需産業を底上げし、雇用の増加、県民所得の増大につなげることができると考えられます。新規航空路線の誘致には、企業や関係者の皆様の御理解と御協力が不可欠であり、地域が一丸となって中国人観光客を受け入れる態勢づくりが必要であると考えています。

この熾烈な誘致競争に勝ち抜くため、皆様方の積極的なプロジェクトへの参加をお願いいたします。

中国との国際定期便についての期待の声やご要望、また鳥取県を離発着する航空路線（国内線・国際線）についてのご意見、質問事項などがありましたら、下記までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

#### <問い合わせ先>

鳥取県交通政策課 航空担当 E-MAIL [koutsuuseisaku@pref.tottori.jp](mailto:koutsuuseisaku@pref.tottori.jp)  
(〒680-8570 鳥取市東町1-220 電話0857-26-7099)

【鳥取県企画部地域づくり支援局交通政策課】

## セミナーのご案内

### ジェットロ鳥取主催「中国ビジネスとそのリスク管理」(11月2日)

大きな市場として注目されている中国は、高い経済成長率を維持する一方で、人件費高騰や、不動産バブルの可能性、中国企業との法的トラブルも懸念されており、現地経済状況やトラブル対策について、理解を深めることが重要となります。

当セミナーでは実際に中国でビジネスを展開する講師より、現地から見た中国経済の現状を報告します。また、中国ビジネスについて経験豊富な国際弁護士を迎え、中国企業との輸出販売契約を締結することを想定した契約締結上の留意点やリスク管理について説明します。皆様の海外ビジネスに、お役に立てて頂きますよう、ご案内申し上げます。

■日時：2011年11月2日（水）14：00～16：00

■場所：とりぎん文化会館 第5会議室（鳥取市尚徳町101-5）

■構成：14：00～14：50「現地から見た中国経済について」（休憩5分含む）

ジェットロ鳥取 瀬川浩一 アドバイザー（香港サンラックインターナショナル 代表）

14：50～15：50「中国ビジネスにおけるリスク管理～契約締結上の留意点、リスク管理について」

東京桜橋法律事務所 吉崎猛氏 日本国弁護士、カリフォルニア州弁護士

■参加費：無料

■定員：30名（先着順）

■申込締切：2011年11月1日（火）

■詳細・申込・お問い合わせ：ジェットロ鳥取（担当：田口）TEL：0857-52-4335 FAX：0857-52-4336

【ジェットロ鳥取】

## お知らせ

### 鑄造機械専門の見本市 「IFEX 2012」のご案内

ジェットロは、インドで開催される最大規模の鑄造機械専門の見本市「IFEX」にジャパン・パビリオンを出展します。御社製品・技術のインド市場への周知・新規取引先発掘の機会としてご活用ください。

- ★会期：2012年3月2日（金）  
～4日（日）
- ★開催地：インド・バンガロール
- ★来場者数：4,200人（2010年実績）
- ★ジャパンパビリオン概要：  
募集企業数：6社・団体程度  
出品対象物：鑄造機械・設備及び同構成部品等
- ★申込締切：10月28日（金）
- ★問合せ、申込：  
ジェットロ海外見本市課  
（担当：堀田、橋本）  
TEL：03-3582-5183  
FAX：03-3505-0450

### 「KIMES 2012」のご案内

ジェットロでは昨年に引き続き、韓国有数の医療・福祉機器の展示会である「KIMES 2012」にジャパン・パビリオンを設け、日本の医療・福祉機器の販路拡大を支援します。新規取引先発掘の場として、是非、本見本市ジャパン・パビリオンをご活用ください。

- ★会期：2012年2月16日（木）  
～19日（日）
- ★会場：COEX（韓国・ソウル）
- ★主催：Korea E&E Inc、韓国医療機器工業協同組合、韓国医療機器産業協会
- ★ジャパンパビリオン概要：  
募集小間数：20社・団体（予定）
- ★申込締切：10月28日（金）
- ★問合せ、申込：  
ジェットロ海外見本市課  
（担当：小林、堀田、橋本、川西）  
TEL：03-3582-5183  
FAX：03-3505-0450

### 市場開拓セミナー 「米国の日本食品市場」 &個別商談会のご案内

ジェットロ岡山では、ジェットロ・ロサンゼルス事務所長、日本企業からの問い合わせや商談サポートを米国で務める食品コーディネーターを講師に招き、セミナーを開催します。本セミナーでは、日本食の輸出先としての米国西海岸の魅力、米国への食品輸出のポイント、米国向け食品輸出の事例紹介など、今後の米国市場攻略のための情報をご提供します。

- ★日時：2011年10月26日（水）  
13時30分～15時00分
- ★会場：メルパルク岡山
- ★参加費：無料
- ★申込締切：10月24日（月）
- ★問合せ、申込：  
ジェットロ岡山  
（担当：森内、柚木）  
TEL：086-224-0853  
FAX：086-224-0854

### 編集後記

10月11日（火）～14日（金）、鳥取県と友好提携を結んでいる韓国の江原道（カンウォンド）から、江原（カンウォン）テクノパーク経済団（11名）が来県され、鳥取県企業との商談会や、県内の研究開発機関の視察をしていただきました。

この背景には、昨年6月、（財）鳥取県産業振興機構と江原テクノパークとで先端産業分野の交流協力に関する協定書に調印するとともに、電気機械、食品分野の取引の可能性を探るため、初の鳥取県経済団を派遣した経緯があります。

この度の江原テクノパーク経済団来訪については、本誌次号で詳しい結果報告をしたいと思っております。【zao】



本誌「とっとり・グローバルウォッチ」では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ：財団法人鳥取県産業振興機構 とっとり国際ビジネスセンター（担当：早川）  
 《本部》境港市竹内団地255-3  
 TEL：0859-30-3161 FAX：0859-30-3162 E-mail：kaigai@toriton.or.jp  
 《東部窓口》鳥取市若葉台南7-5-1  
 TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6673 E-mail：kaigai@toriton.or.jp